

事務事業評価シート

事務事業コード	030300	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	地方創生ストリートミーティング事業		所属名	企画推進部 政策企画課	

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	平成28年度 ~ 令和2年度
	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営		根拠法令、 根拠計画等	
施策	5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営				
目標の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	その他
	指標設定なし		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	地方創生推進事業費			予算事業コード	01-02-01-07-01-51

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	若い世代
意図 (どのような状態 にするために)	次世代の鳥取市を担う若い世代の希望がかなえられるまちづくりを進めるため
手段 (どうするのか)	若い世代と市長とのストリートミーティング（座談会）の開催

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		若い世代と市長との座談会(ストリートミーティング)の開催	若い世代と市長との座談会(ストリートミーティング)の開催	若い世代と市長との座談会(ストリートミーティング)の開催	若い世代と市長との座談会(ストリートミーティング)の開催	若い世代と市長との座談会(ストリートミーティング)の開催	若い世代と市長との座談会(ストリートミーティング)の開催
年度別実績	子育て世代、移住若者世代、働く若者女性、新規就農者、中学生を対象に計6回実施。	関西在住の若者、首都圏在住の若者、若手経済人、女性起業者を対象に計4回実施。	鳥取大学、鳥取環境大学、関西圏在住の若者、首都圏在住の若者を対象に計4回実施。	首都圏在住の若者、とっとり若者地方創生会議メンバーを対象に計2回実施。			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	747	946	1,178	825	0	
	直接経費 A	25	214	454	106	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	25	214	454	106	0		
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	ストリートミーティングの開催	回	目標	6
			実績	6	4	4	2	0
	(指標の説明) 若い世代と市長とのストリートミーティング(座談会)を開催する							
2			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							
3			目標	0	0	0	0	0
			実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明)							

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 創生戦略室 0857-30-8014</p> <p>【10次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 当初予算</p> <p>【事業の概要】 「鳥取市創生総合戦略」では「ひとづくり」を第一の柱に据え、若い世代の希望がかなえられるまちづくりを進めるため、市長自ら若者と対話し、いただいた意見を施策に反映させていくもの。</p> <p>【事業の成果】 <内容>若い世代と市長とのストリートミーティング（座談会）の開催 令和元年度『地方創生ストリートミーティング』 第1弾「首都圏若者編」 明治大学の学生8名 令和2年1月 第2弾「とっとり若者地方創生会議メンバー編」 メンバー5名 令和2年2月</p> <p>【今後の課題・方向性】 継続して実施する。令和2年度は、市内大学生や子育て世代などと実施予定。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	ストリートミーティングの開催	100%	67%	67%	33%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	座談会を行う対象の検討やスケジュール調整に時間を要したことにより、目標実施回数を下回る結果となった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>次世代を担う若者の意見を伺うことができる他の手段がなく、幅広い世代からの意見を集約し施策に反映させるために、本事業は引き続き必要と考える。過去の実施状況や現在の本市を取り巻く状況を考慮したうえで、実施対象の選定やテーマ設定を行うことや、時間配分等を精査し、実施回数の集約を行うなど、効果的な実施となるよう効率化を図る。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	030400	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	構造改革特別区域推進事業		所属名	企画推進部	政策企画課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	平成19年度 ~ 全期
	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営		根拠法令、 根拠計画等	構造改革特別区域法(平成14年 法律189号)
施策	5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営				
目標の 指標の 設定	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	指標設定なし		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名				予算事業コード	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	本市全域
意図 (どのような状態 にするために)	教育、農業、社会福祉などの分野における構造改革を推進し、地域の活性化を図り、本市の経済を発展させる。
手段 (どうするのか)	各地域の特性に応じて規制の特例措置を定めた構造改革特別区域を設定する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度 年間約3回程度ある 募集を全庁(支所も含 む)に周知し、必要に 応じて構造改革特別区 域を設定。	平成29年度 年間約3回程度ある 募集を全庁(支所も含 む)に周知し、必要に 応じて構造改革特別区 域を設定。	平成30年度 年間約3回程度ある 募集を全庁(支所も含 む)に周知し、必要に 応じて構造改革特別区 域を設定。	令和元年度 年間約3回程度ある 募集を全庁(支所も含 む)に周知し、必要に 応じて構造改革特別区 域を設定。	令和2年度 年間約3回程度ある 募集を全庁(支所も含 む)に周知し、必要に 応じて構造改革特別区 域を設定。	
	年度別実績	特区申請なし	特区申請なし	特区申請なし	特区申請なし		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	722	732	724	719	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経 費の財 源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0		
人件費 B	722	732	724	719	0		
職員数の 内訳	正規職員	0.10	0.10	0.10	0.10	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	1	全庁への周知	回	目標	3	3	3	3	3
				実績	3	3	4	3	0
	(指標の説明) 国からの募集を全庁に周知する。								
	2	認定特区件数	件	目標	1	1	1	1	1
				実績	0	0	0	0	0
	(指標の説明) 新規に特区認定された件数								
3			目標	0	0	0	0	0	
			実績	0	0	0	0	0	
(指標の説明)									

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 創生戦略室 0857-30-8014</p> <p>【10次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 構造改革特区申請取りまとめ、全体進捗管理 2 国等関係機関調整 <p>【事業の成果】</p> <p>地域の取組の妨げとなる規制を取り除くツールとして構造改革特区の申請を行い、地域の自然的、経済的、社会的諸条件等を活かした地域活性化の一助とした。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・H19年 3月 「鳥取市保育所臨時保育士の任用期間延長による保育事業充実特区」 ・H26年 3月 「鳥取市五しの里さじどぶろく特区」 ・H28年 3月 「とっとり・やず果実酒特区」 <p>【今後の課題・方向性】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 庁内での活用事例の公表を積極的におこない、検討案件件数を指す。 2 活用のメリット、具体的な事務内容・方法を周知し、市民・職員双方の事務負担を軽減する方向での調整を行う。
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	全庁への周知	100%	100%	133%	100%	
	2	認定特区件数					
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	全庁への周知を実施したが、特区申請はなかった。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>基本は現状の事業を維持しつつ、制度内容、メリット等の周知を引き続き行っていき、必要に応じて活用実績の増を図る。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	030500	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	地域再生計画推進事業		所属名	企画推進部	政策企画課

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	平成17年度 ~ 全期
	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営		根拠法令、 根拠計画等	地域再生法(平成17年法律第24号)
施策	5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営				
目標の 施策の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	指標設定なし		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名				予算事業コード	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	本市全域
意図 (どのような状態にするために)	地域経済の活性化と地域雇用の創造
手段 (どうするのか)	地域再生法に基づく各種メニューを活用した事業を実施する際に、全庁的な調整を行う。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度		
	年度別計画	年間約3回程度ある募集を全庁(支所も含む)に周知の徹底を図る。	年間約3回程度ある募集を全庁(支所も含む)に周知の徹底を図る。	年間約3回程度ある募集を全庁(支所も含む)に周知の徹底を図る。	年間約3回程度ある募集を全庁(支所も含む)に周知の徹底を図る。	年間約3回程度ある募集を全庁(支所も含む)に周知の徹底を図る。	
年度別実績	グループウェア全庁 掲示板により周知 ・4月8日 ・8月23日 ・3月8日 成果 申請による認定 1件(本市単独)	グループウェア全庁 掲示板により周知 ・7月31日 成果 申請による認定 2件(広域1件、単独1件)	グループウェア全庁 掲示板により周知 ・7月31日 成果 申請による認定 1件(広域1件)	グループウェア全庁 掲示板により周知 ・12月23日 成果 申請による認定 2件(本市単独)			
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	1,444	1,464	1,449	1,438	0	
	直接経費 A	0	0	0	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	0	0	0	0	0		
人件費 B	1,444	1,464	1,449	1,438	0		
職員数の内訳	正規職員	0.20	0.20	0.20	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	全庁への周知回数	回	目標	3	3	3	3	3
				実績	3	3	1	1
(指標の説明) 国からの募集を全庁に周知する。								
2	地域再生計画認定件数	件	目標	1	1	1	1	1
				実績	1	2	1	2
(指標の説明)								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 創生戦略室 0857-30-8014</p> <p>【10次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 なし</p> <p>【事業の概要】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 地域再生計画申請の取りまとめ、全体進捗管理 2 国等関係機関調整 <p>【事業の成果】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 必要に応じて計画認定の調整を実施 2 令和元年度申請数(実績) 2件 R2年3月認定 <ul style="list-style-type: none"> ・スマート農業技術を活用した新たな販路開拓や商品開発事業(市単独) ・中心拠点と公共交通ネットワークの再構築による多極ネットワーク型コンパクトシティ推進事業(市単独) <p>【今後の課題・方向性】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 庁内での活用事例の公表を積極的におこない、検討案件件数増を目指す 2 活用のメリット、具体的な事務内容・方法を周知し、市民・職員双方の事務負担を軽減する方向での調整を行う 3 関連交付金等の情報の収集にあたり、各担当課の事業立案時にアドバイス等を積極的に行う
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	全庁への周知回数	100%	100%	33%	33%	
	2	地域再生計画認定件数	100%	200%	100%	200%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input checked="" type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	<p>通常年3回行われる地域再生計画の認定申請の募集のうち、2回については関係課が特定できるため、全庁への周知ではなく個別対応を行ったことにより、目標を下回る結果となったが、事業の目的を果たすことはできた。</p>

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p>	<p>内部調整事務のため、事業自体は現状維持が妥当。本制度は今後の法律制限解除等の事務処理負担軽減や、国費等の有効財源の活用の際に必要なため、一層の制度の把握と、行政内部への周知を図ることがあわせて必要と考える。また、関係課が特定できる場合においては、全庁掲示板での周知の場合、各課が手続きの要否を判断する負担が発生してしまうため、引き続き個別対応を行うこととしたい。</p>	

事務事業評価シート

事務事業コード	030600	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	地域づくり懇談会開催事業		所属名	市民生活部 協働推進課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	平成14年度 ~ 全期
	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営		根拠法令、 根拠計画等	
施策	5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	指標設定なし		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
予算	予算事業名	地域づくり懇談会開催費		予算事業コード	01-02-01-01-07-03	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市内61地区(地区公民館単位で開催)
意図 (どのような状態 にするために)	地域及び市政の課題を解決し、対話行政を推進することにより、市政の一層の発展と協働による地域づくりの推進を図る。
手段 (どうするのか)	市長以下、幹部職員が地域に出向き、地域課題の解決のため、各地区住民と直接意見交換する。また、当日市民からいただいた意見・要望等は文書にまとめ、各担当課に周知徹底し、改善等について検討する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		地域づくり懇談会の開催 ・32地区開催(鳥取 地域17地区、新市域 15地区)	地域づくり懇談会の開催 ・32地区開催(鳥取 地域17地区、新市域 15地区) 開催方法の見直し検 討	地域づくり懇談会の開催 ・30地区開催	検討結果を踏まえた 開催 ・31地区開催	検討結果を踏まえた 開催 ・24地区開催	
	年度別実績	地域づくり懇談会の開催 ・28地区 ・986人参加	地域づくり懇談会の開催 ・32地区 ・1,060人参加	地域づくり懇談会の開催 ・28地区 ・531人参加	地域づくり懇談会の開催 ・7地区 ・141人参加 未実施の24地区 は令和2年度に延期		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	3,431	3,545	3,429	1,590	0	
	直接経費 A	543	617	532	152	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	543	617	532	152	0		
人件費 B	2,888	2,928	2,897	1,438	0		
職員数の内訳	正規職員	0.40	0.40	0.40	0.20	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	参加人数(懇談会に参加した市民の数)	名	目標	1000	1000	0	0	0
				実績	986	1060	0	0
(指標の説明) 参加人数はH29までの評価指標。H30以降は取組内容を見直すため満足度を指標とし評価する。								
2	参加者の満足度	%	目標	50	50	70	70	70
				実績	37	69	74	80
(指標の説明) 懇談会に参加した市民の満足度(アンケート集計結果)								
3			目標	0	0	0	0	0
				実績	0	0	0	0
(指標の説明)								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 コミュニティ支援係 0857-30-8176</p> <p>【10次総の施策体系】 3101</p> <p>【事業の経過及び背景】 市長以下幹部職員が各地区住民と、直接地域の課題・振興策等について懇談する。</p> <p>【事業の目的及び効果】 市長以下、市幹部職員が地域に出向き、市民と直接意見交換し、対話行政を推進することにより、市政の一層の発展と協働による地域づくりの推進を図ることを目的とする。</p> <p>【事業の内容・実績(過去3年)】 平成29年度 33地区 平成30年度 28地区 令和元年度 7地区(市長療養のため、24地区を令和2年度に延期)</p> <p>【今後の取り組み】 地域住民と市幹部職員が直接意見交換を行うことで、地域の課題解決を図っている。今後も住民の要望を取り入れ、社会情勢も踏まえながら、開催回数、開催方法などを含め必要に応じて見直しを行っていく。 新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、令和2年度開催予定分(前述の24地区)の開催を令和3年度へ延期とする。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	参加人数(懇談会に参加した市民の数)	99%	106%			
	2	参加者の満足度	74%	138%	106%	114%	
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input checked="" type="checkbox"/> 3. 事業未完了	市長療養のため、24地区を令和2年度に延期
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>地域の取り組みや市の展望などについて市長と地域住民が直接膝語で話し合い、地域との協働のまちづくりをさらに前進させる場となるよう引き続き取り組む。なお、懇談会の開催方法については、社会情勢等を踏まえながら、必要に応じて見直しを行っていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	030700	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	市報発刊配布事業		所属名	企画推進部	秘書課

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営		根拠法令、根拠計画等	
施策	5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	指標設定なし		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	市報発刊配布費			予算事業コード	01-02-01-03-01-01

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民
意図 (どのような状態にするために)	鳥取市の政策やお知らせなどの情報を広く市民に周知するため。
手段 (どうするのか)	とっとり市報と各総合支所だよりを発行し、自治会等の組織を通じ各戸へ配布する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

		平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
内容	年度別計画	市報発行支所だより発行 市民に対し、行政情報や身近なまちの話題等を市報で提供する。配付は自治会を単位とする組織に依頼する。	市報発行支所だより発行 市民に対し、行政情報や身近なまちの話題等を市報で提供する。配付は自治会を単位とする組織に依頼する。	市報発行支所だより発行 市民に対し、行政情報や身近なまちの話題等を市報で提供する。配付は自治会を単位とする組織に依頼する。	市報発行支所だより発行 市民に対し、行政情報や身近なまちの話題等を市報で提供する。配付は自治会を単位とする組織に依頼する。	市報発行支所だより発行 市民に対し、行政情報や身近なまちの話題等を市報で提供する。配付は自治会を単位とする組織に依頼する。	
	年度別実績	毎月1回(1日)に市報67,000部を発行し、約1,400の町内会等の組織を通じて配布した。 新市域で支所だよりを15,500部発行した。	毎月1回(1日)に市報65,500部を発行し、約1,400の町内会等の組織を通じて配布した。 新市域で支所だよりを15,200部発行した。	毎月1回(1日)に市報65,200部を発行し、約1,400の町内会等の組織を通じて配布した。 新市域で支所だよりを15,050部発行した。	毎月1回(1日)に市報65,200部を発行し、約1,400の町内会等の組織を通じて配布した。 新市域で支所だよりを15,050部発行した。		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	64,635	65,658	65,295	67,345	0	
	直接経費 A	57,416	56,357	58,052	60,155	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	6,222	5,858	5,834	5,614	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	6	2	4	4	0
一般財源	51,188	50,497	52,214	54,537	0		
人件費 B	7,219	9,301	7,243	7,190	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

		指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標	1	とっとり市報に対する肯定的な意見数(年平均)	件	目標	650	650	650	650	650
		実績		768	741	720	852	0	
	(指標の説明)								
	2		目標	0	0	0	0	0	0
		実績	0	0	0	0	0	0	
	(指標の説明)								
3		目標	0	0	0	0	0	0	
	実績	0	0	0	0	0	0		
(指標の説明)									

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 広報室 0857-30-8008</p> <p>【10次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P36（企008）</p> <p>【事業の概要】 (1) 発行回数…市報：月1回1日発行 支所だより：市報に併せ発行 (2) 発行部数…市報：65,200部 支所だより：15,050部 (3) 規格…市報：A4判カラー32頁 支所だより：A4判二色刷り4頁 (4) 配布方法…搬送業者が町内会の担当者宅へ届け、担当者が各世帯へ配布。 町内会未加入者は、各公共施設、スーパー、コンビニ等で入手可。 市報配布箇所数…町内会等：約1,270箇所 市報設置箇所数…公共施設：約140箇所 商業施設：約50箇所</p> <p>【事業の成果】 市報、支所だよりとも、最も重要な市政の広報媒体として月1回発行し、公式ウェブサイトへも、PDF版・HTML版・電子書籍版を掲載。 平成29年度 56,357千円 平成30年度 58,052千円 令和元年度 60,155千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 市政の情報入手手段としてニーズの高い市報について、より関心をもって読んでもらえるよう内容の充実に努めていく。</p> <p>※その他財源の諸収入は、とっとり市報郵送料。</p>
-----------	--

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標達成率	1	とっとり市報に対する肯定的な意見数(年平均)	118%	114%	111%	131%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
年度計画の進捗度 <small>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</small>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
事業の成果 <small>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</small>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input checked="" type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	担当課長の評価コメント <small>(「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</small> 市報は市政の情報入手手段としてニーズが高いため、より関心をもって読んでもらえるよう内容の充実に努めていく。		

事務事業評価シート

事務事業コード	030800	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	市政広報事業		所属名	企画推進部 秘書課	

1. 基本情報

位置づけ の 総合計画	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営		根拠法令、 根拠計画等	
施策	5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営				
目標の 実施の 目標	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	指標設定なし		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	市政広報費		予算事業コード	01-02-01-03-02-01	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市民、山陰地方
意図 (どのような状態 にするために)	鳥取市のイベントやお知らせなどの情報を広く市内外に告知し、集客を図る
手段 (どうするのか)	新聞、テレビ、ラジオなどを活用した広告宣伝を行う

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
		テレビ番組、ケーブルテレビ番組、ラジオ番組、新聞記事下広告で、市民が行政情報を容易に取得できるよう情報提供する。	テレビ番組、ケーブルテレビ番組、ラジオ番組、新聞記事下広告で、市民が行政情報を容易に取得できるよう情報提供する。	テレビ番組、ケーブルテレビ番組、ラジオ番組、新聞記事下広告で、市民が行政情報を容易に取得できるよう情報提供する。	テレビ番組、ケーブルテレビ番組、ラジオ番組、新聞記事下広告で、市民が行政情報を容易に取得できるよう情報提供する。	テレビ番組、ケーブルテレビ番組、ラジオ番組、新聞記事下広告で、市民が行政情報を容易に取得できるよう情報提供する。	テレビ番組、ケーブルテレビ番組、ラジオ番組、新聞記事下広告で、市民が行政情報を容易に取得できるよう情報提供する。
年度別実績	各種メディアでの情報提供 ・ケーブルテレビ(行政情報番組) ・新聞(地元紙での広告対談記事) ・テレビ(CM、特集番組) ・ラジオ(AM/FMでのスポットCM)	各種メディアでの情報提供 ・ケーブルテレビ(行政情報番組) ・新聞(地元紙での広告対談記事) ・テレビ(CM、特集番組) ・ラジオ(AM/FMでのスポットCM等)	各種メディアでの情報提供 ・ケーブルテレビ(行政情報番組) ・新聞(地元紙での広告対談記事) ・テレビ(CM、特集番組) ・ラジオ(AM/FMでのスポットCM等)	各種メディアでの情報提供 ・ケーブルテレビ(行政情報番組) ・新聞(地元紙での広告対談記事) ・テレビ(CM、特集番組) ・ラジオ(AM/FMでのスポットCM等)	各種メディアでの情報提供 ・ケーブルテレビ(行政情報番組) ・新聞(地元紙での広告対談記事) ・テレビ(スポットCM、特集番組) ・ラジオ(行政情報番組等)		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	54,759	51,003	47,644	54,992	0	
	直接経費 A	47,540	43,684	40,401	47,802	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	441	492	227	245	0
一般財源	47,099	43,192	40,174	47,557	0		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	市政広報に係るテレビ・ラジオ番組、新聞等への掲載数(年平均)	件	目標	20
	(指標の説明)		実績	22	24	25	32	0
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 広報室 0857-30-8008</p> <p>【10次総の施策体系】 5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次：当初予算・P37（企009）</p> <p>【事業の概要】 市民が行政情報を容易に取得できるように、ケーブルテレビ、新聞、テレビ、ラジオ等様々なメディアで情報提供を行う。</p> <p>【事業の成果】 ケーブルテレビ、新聞、テレビ、ラジオ等様々なメディアを活用し、本市の行政情報を発信し市民への浸透を図った。 1 ケーブルテレビ…行政情報番組 2 新聞…記事下広告、対談記事広告 3 テレビ…スポットCM、企画番組 4 ラジオ…行政情報番組、スポットCM</p> <p>平成29年度 43,684千円 平成30年度 40,401千円 令和元年度 47,802千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 目的に応じて広く深く市民に情報の浸透を図るため、様々なメディアの特性を生かした情報発信に努める。</p> <p>※その他財源の諸収入は、広告料。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	市政広報に係るテレビ・ラジオ番組、新聞等への掲載数(年平均)	110%	120%	114%	145%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input checked="" type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>目的やタイミングに応じて市民に情報の浸透を図るため、様々なメディアの特性を生かした情報発信に努める。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	030900	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	ホームページ運用事業		所属名	企画推進部 秘書課	

1. 基本情報

総合計画の位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営		根拠法令、根拠計画等	
施策	5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営				
目標の種別	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	指標設定なし		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	ホームページ運用費		予算事業コード	01-02-01-03-02-05	

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	鳥取市公式ホームページ
意図 (どのような状態にするために)	行政、イベント、観光、危機管理等に関する情報を掲載して、市民やインターネットユーザーに対して情報を提供するもの。
手段 (どうするのか)	各課が、行政やイベントなどの情報を入力し、ホームページで情報公開する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
	年度別実績	ホームページの内容充実 操作研修 コンテンツ見直し	ホームページの内容充実 操作研修 コンテンツ見直し	ホームページの内容充実 操作研修 コンテンツ見直し	ホームページの内容充実 操作研修 コンテンツ見直し システム更新に係る プロポーザルの実施	ホームページの内容充実 操作研修 コンテンツ見直し システム更新	ホームページの内容充実 操作研修 コンテンツ見直し
		ホームページの操作研修会を年1回開催。 公式ホームページのコンテンツの見直しを行い、古い情報が掲載されているコンテンツの更新及び不要なコンテンツの削除を実施。 (9月、3月)	ホームページの操作研修会を年1回開催。 公式ホームページのコンテンツの見直しを行い、古い情報が掲載されているコンテンツの更新及び不要なコンテンツの削除を実施。 (随時)	ホームページの操作研修会を年1回開催。 古い情報が掲載されているコンテンツの更新及び不要なコンテンツの削除を実施。 31年度のシステム更新に向け、プロポーザルによる業者の選定を実施。	ホームページの操作研修会を年1回開催。 各コンテンツのウェブアクセシビリティをAAレベルに修正。(11月) システム(CMS)を令和元年11月に更新完了。		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	11,913	11,310	9,924	10,871	0	
	直接経費 A	4,694	3,991	2,681	3,681	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	19	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	767	670	540	201	0
一般財源	3,908	3,321	2,141	3,480	0		
人件費 B	7,219	7,319	7,243	7,190	0		
職員数の内訳	正規職員	1.00	1.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				1	鳥取市公式ウェブサイトトップページのアクセス件数(月平均)	件	目標	100000
	(指標の説明) 鳥取市公式ウェブサイトトップページのアクセス件数(月平均)		実績	92000	67406	69341	95161	0
2			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0
3			目標	0	0	0	0	0
	(指標の説明)		実績	0	0	0	0	0

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 広報室 0857-30-8008</p> <p>【10次総施策体系】 5101</p> <p>【事業の経過及び背景】 鳥取市公式ホームページは、平成10年3月に開設し、平成19年10月には各担当課で情報更新が可能なシステムを導入し行政情報の発信を行ってきた。現行のコンテンツマネジメントシステム(CMS)の陳腐化に対処するため、平成31年2月にCMSを更新し、同年11月に本市公式ホームページをリニューアルした。</p> <p>【事業の目的及び効果】 公式ホームページは、住む人のみならず来る人も対象に、市政の基幹的な広報媒体として、迅速・丁寧な情報発信を行っていく重要な役割を担う。よりわかりやすく、より役に立つホームページの構築・運用を進めることで、市民とのコミュニケーションの増進を図る効果が期待できる。</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	鳥取市公式ウェブサイトトップページのアクセス件数(月平均)	92%	67%	69%	95%	
	2						
	3						

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input type="checkbox"/> 1. 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>今後も利用者のニーズに沿った迅速な情報提供を行うとともに、誰にでも使いやすく分かりやすいサイト運営を進めていく。</p>		

事務事業評価シート

事務事業コード	031000	重点施策	該当なし	令和元年度 第10次鳥取市総合計画	
事務事業名	情報提供のあり方改善事業		所属名	企画推進部	秘書課

1. 基本情報

位置づけ 総合計画の 位置づけ	体系区分	コード	名称		事業区分名称	区分
	まちづくりの目標	50	まちづくりを支える自立した自治体経営		事業期間	平成28年度 ~ 全期
	政策	01	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営		根拠法令、 根拠計画等	
施策	5101	中核市移行による地方分権の推進と開かれた市政の運営				
目標の 目標の	目標の種別		平成28年度	令和2年度	事業分類区分	ソフト(任意)
	指標設定なし		0	0	運営方法	直営
			0	0	会計区分	一般会計
			0	0		
予算	予算事業名	情報提供のあり方改善事業費			予算事業コード	01-02-01-03-02-17

「施策の目標」はその施策の主要な事業の評価指標を設定しています。

2. 事業目的【PLAN】

対象 (何を、誰を)	市職員 各種広報ツール 市民
意図 (どのような状態 にするために)	【わかりやすい市政】市民に対し、市政をわかりやすく説明できる職員を育成する。 【伝わりやすい市政】市民に対し、市政が伝わりやすい環境を整備する。 【信頼される市政】政策決定過程から市民参画を促し、市民との情報共有と信頼関係の構築を図る。
手段 (どうするのか)	「わかりやすさ」に重点を置いた研修を実施する。 「伝わりやすさ」を重視した計画的な広報を実施する。 広報と広聴が連携し、市民が意見を寄せやすい環境を整備する。

3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】

※年度別の取り組みを簡潔に記入

内容	年度別計画	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	
			職員の情報提供能力の向上 効果的な広報ツールの活用 広報と広聴の連携強化	職員の情報提供能力の向上 効果的な広報ツールの活用 広報と広聴の連携強化	職員の情報提供能力の向上 効果的な広報ツールの活用 広報と広聴の連携強化	職員の情報提供能力の向上 効果的な広報ツールの活用 広報と広聴の連携強化	職員の情報提供能力の向上 効果的な広報ツールの活用 広報と広聴の連携強化
	年度別実績	広報専門職員を配置 新聞朝刊各紙に「鳥取市からのお知らせ」の折込実施 インターネットモニターの実施	広報専門職員を配置 イオン北店フードコートで市の情報の放送実施 市民政策コメントの実施	鳥取市広報指針の策定、職員への周知 イオン鳥取店、鳥取北店への鳥取市情報コーナーの設置 広報・広聴連絡会議の立ち上げ	鳥取市広報指針の策定、職員への周知 SNS(LINE、インスタグラム、ユーチューブ)による広報の拡充 広報・広聴連絡会議の運用		
事業費	区分	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	決算額(千円)	予算額(千円)	
	事業費(A+B)	16,830	14,638	7,375	7,190	0	
	直接経費 A	2,392	0	132	0	0	
	直接経費の財源内訳	国・県	0	0	0	0	0
		地方債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
一般財源	2,392	0	132	0	0		
人件費 B	14,438	14,638	7,243	7,190	0		
職員数の内訳	正規職員	2.00	2.00	1.00	1.00	0.00	
	嘱託職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	
	臨時職員	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	

※人件費は鳥取市職員の給与平均額を基にした概算です。

4. 資源を投入することで実施した活動の大きさを表す指標【PLAN・DO】

活動指標	指標名	単位	区分	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
				目標	実績	目標	実績	目標
1	市政記者室への資料提供件数	件	目標	1500	1500	1500	1500	1500
				実績	1548	1539	1545	1576
(指標の説明) 市政記者室への資料提供件数(市および市民)								
2	CATVコミュニティデータ放送の地域情報利用世帯数(自治会数)	件	目標	90	100	110	120	0
				実績	92	92	95	95
(指標の説明) 令和元年11月より鳥取テレトピアの独自事業に移管したため令和元年10月30日現在での評価となる。								
3	市民政策コメント1件あたりの平均意見件数	件	目標	20	20	20	20	20
				実績	18	12	14	21
(指標の説明) 市民政策コメントの1件あたりの平均意見件数								

5. 令和元年度の事務事業実施概要【DO】

※前年度の取り組みを具体的に記入(予算事務事業の事業概要と連動)

事務事業の実施概要	<p>【問合せ先】 広報室 0857-30-8008</p> <p>【10次総の施策体系】 5101</p> <p>【事業の経過及び背景】 情報提供のあり方に関する提言(H25.1.29)を実施するため、広報専門職員(戦略広報監・キャスター)の配置と広報委員会で進捗を管理してきた。平成30年度からは推進体制の見直しを行い広報戦略推進プロジェクトチームを設置し、鳥取市広報指針に基づき「市民に伝わり、市民とつながる広報」を目指して職員一丸となって取り組む。</p> <p>【事業の目的及び効果】 市が保有する情報の戦略的な利活用を図り、市民の声が市政に反映される協働のまちづくりを推進する。</p> <p>【事業の内容・実績】 (1) 広報担当職員の能力向上 (2) ソーシャルメディアの活用 (3) 広報と広聴の連携強化 (4) 広報ツールの運用マニュアル整備 (5) コミュニティFM放送の利用拡大 (6) 職員の情報提供能力向上</p>
-----------	---

6. 活動指標の達成率【CHECK】

		指標名	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
指標 達成 率	1	市政記者室への資料提供件数	103%	103%	103%	105%	
	2	CATVコミュニティデータ放送の地域情報利用世帯数(自治会数)	102%	92%	86%	79%	
	3	市民政策コメント1件あたりの平均意見件数	90%	60%	70%	105%	

達成率は指標の目標値と実績値により算出します。目標値が0の年度は表示されません。

7. 評価【CHECK】

評価項目と評価の視点	評価内容	評価理由(評価の視点を踏まえて記入)
<p>年度計画の進捗度</p> <p>3. 事業の年度別計画・実績【PLAN・DO】より当該年度で予定した事業が3月末時点でどのような進捗状況となったか。</p>	<input type="checkbox"/> 1. 計画を上回る <input checked="" type="checkbox"/> 2. 計画どおり <input type="checkbox"/> 3. 事業未完了	
<p>事業の成果</p> <p>6. 活動指標の達成率【CHECK】より「150%以上:大幅に上回る」、「101%~150%未満:上回る」、「80%~100%以下:目標どおり」、「50%~80%未満:下回る」、「50%未満:大幅に下回る」※最も達成度の低い指標で評価</p>	<input type="checkbox"/> 1. 目標を大幅に上回る <input type="checkbox"/> 2. 目標を上回る <input type="checkbox"/> 3. 概ね目標どおり <input checked="" type="checkbox"/> 4. 目標を下回る <input type="checkbox"/> 5. 目標を大幅に下回る	CATVコミュニティデータ放送のシステム更新に伴い、事業の位置付けが変わったため目標管理の対象事業から外れたもの。

8. 事業の成果を踏まえた今後の方向性【ACTION】

今後の方向性	<input checked="" type="checkbox"/> 1. 拡充 <input type="checkbox"/> 2. 改善継続 <input type="checkbox"/> 3. 現状維持 <input type="checkbox"/> 4. 縮小 <input type="checkbox"/> 5. 休止、廃止、終了	<input checked="" type="checkbox"/> 1-1 意図的に拡充 <input type="checkbox"/> 1-2 制度的に自然増加 <input type="checkbox"/> 2-1 手段等の改善 <input type="checkbox"/> 2-2 効率化、簡素化 <input type="checkbox"/> 2-3 他事業との統合	<input type="checkbox"/> 4-1 意図的に縮小 <input type="checkbox"/> 4-2 制度的に自然減少 <input type="checkbox"/> 5-1 臨年実施等、意図的に休止 <input type="checkbox"/> 5-2 意図的に廃止 <input type="checkbox"/> 5-3 制度的に終了
	<p>担当課長の評価コメント (「今後の方向性」を判断した理由がわかるよう、数値等を用いた具体的な成果と、今後の改善プランを記載)</p> <p>鳥取市広報指針に基づいて「市民に伝わり、市民とつながる広報」の実現を目指す。</p>		